

株式会社朝日ネット

決算説明会

2021年3月期 上期

(2020年4月1日～2020年9月30日)



つなぐをつくる、つなぐをささえる。

AsahiNet

証券コード:3834

目次

1 2021年3月期 上期業績

2 事業の状況

- 朝日ネットが取り組むべき課題
- ISP「ASAHIネット」
- VNE「v6 コネクト」
- 教育支援サービス「manaba」

<将来予測に関する注意事項>

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。

これらの記述は現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従いましてこれら業績見通しに全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。様々な重要な要因により実際の業績はこれら業績見通しと大きく異なる可能性があり、そして見通しと比べて悪い結果となる場合もあります。

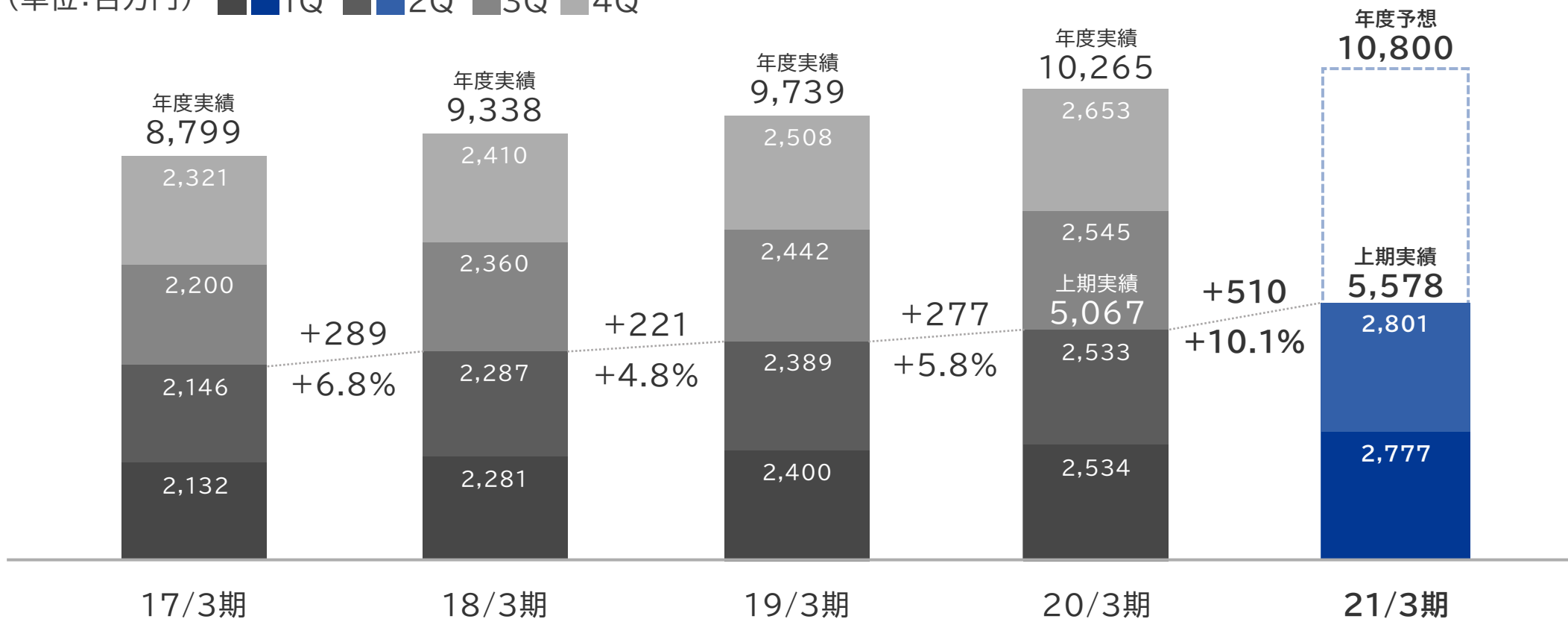
また掲載内容については細心の注意を払っておりますが掲載された情報の誤り等に関し当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



売上高の推移

前年同期比10.1%増加。過去最高の上期売上高を更新

(単位:百万円) ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

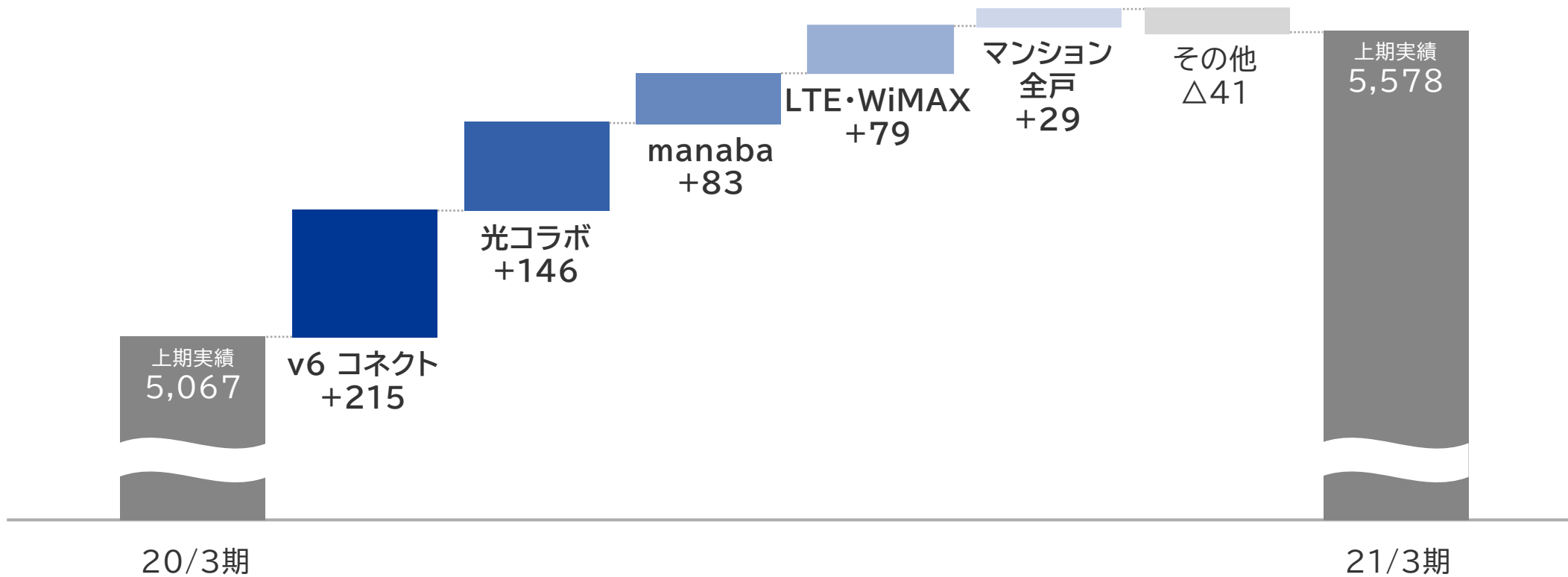




売上高 前期比差異

「v6 コネクト」や光コラボの拡販により増収

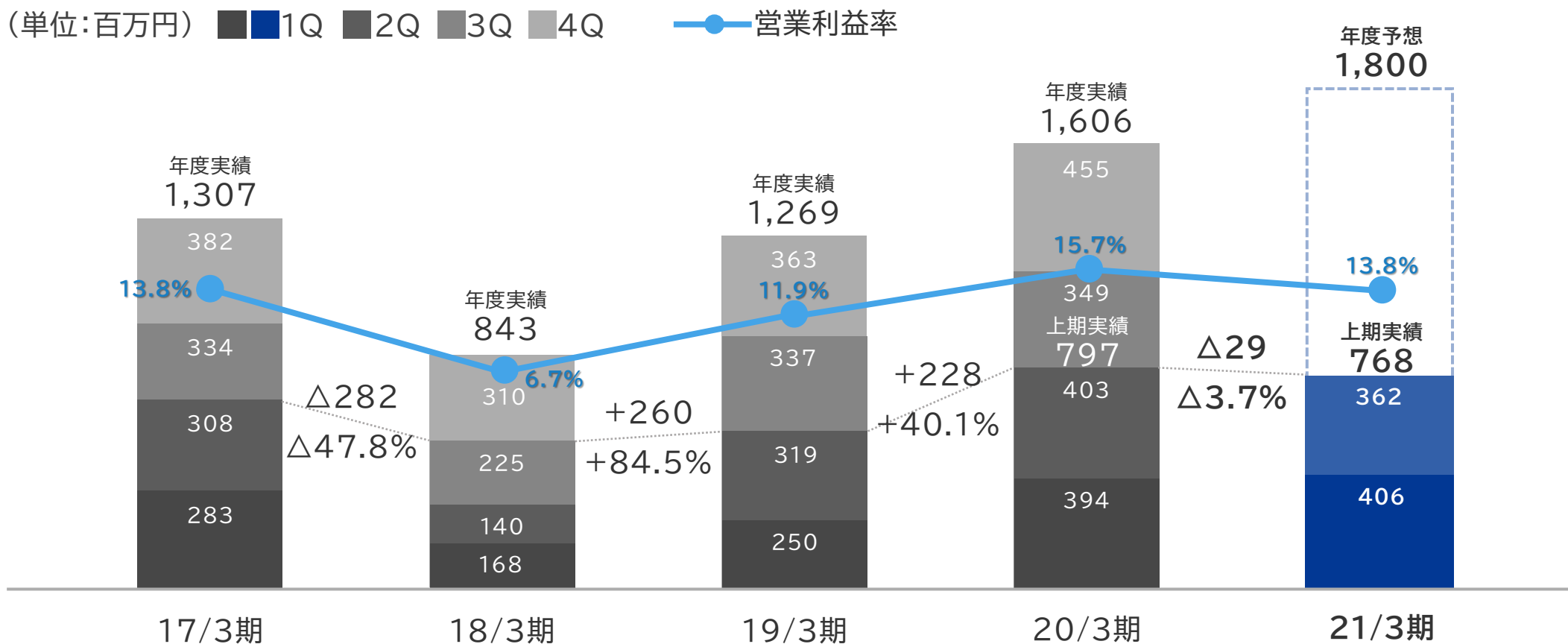
(単位:百万円)





営業利益の推移

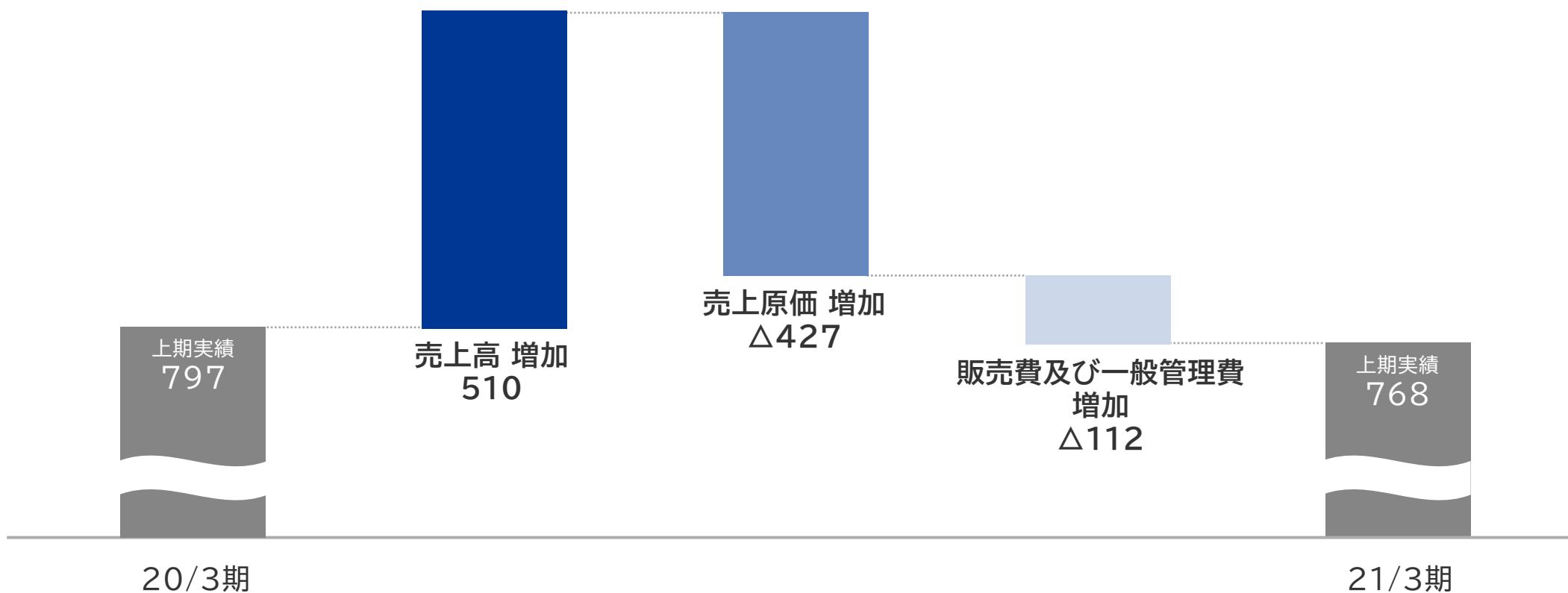
前年同期比3.7%減少。年度予想の達成に向けて計画通りに進捗



営業利益 前期比差異

通信品質を維持するための設備増強などにより原価が増加

(単位:百万円)





経営成績

(単位:百万円)

	20/3期 上期 実績	21/3期 上期 実績	増減額	増減率	業績予想 進捗率
売上高	5,067	5,578	510	10.1%	51.6%
営業利益	797	768	△29	△3.7%	42.7%
経常利益	834	823	△11	△1.4%	45.7%
四半期純利益	573	791	218	38.2%	62.8%
1株当たり 四半期純利益	20円22銭	28円40銭	—	—	—



財政状態

(単位:百万円)

	20/3期 3月末	21/3期 9月末	増減額
総資産	11,094	12,623	1,528
負債	1,390	1,823	433
純資産	9,704	10,799	1,095
自己資本比率	87.5%	85.6%	—



株主還元

2021年3月期の配当金は中間9円50銭、期末9円50銭を予定

(単位:百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 (予想)
当期純利益	950	577	952	1,150	1,260
配当金	18円00銭	18円00銭	18円00銭	18円50銭	19円00銭
配当性向	56.1%	92.2%	56.0%	45.2%	42.0%



朝日ネットが対処すべき課題

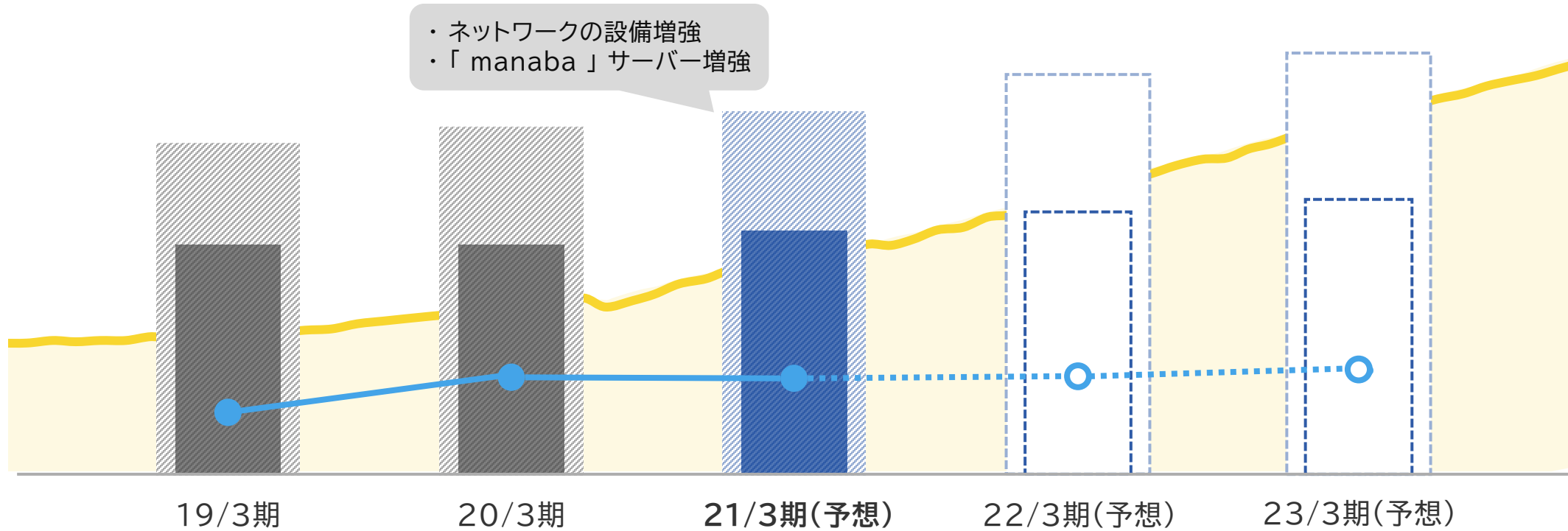
対処すべき
課題

✓ 増加する費用を抑え、利益が出せる構造を維持すること

✓ お客様に満足いただける品質のサービスを今後も提供し続けること

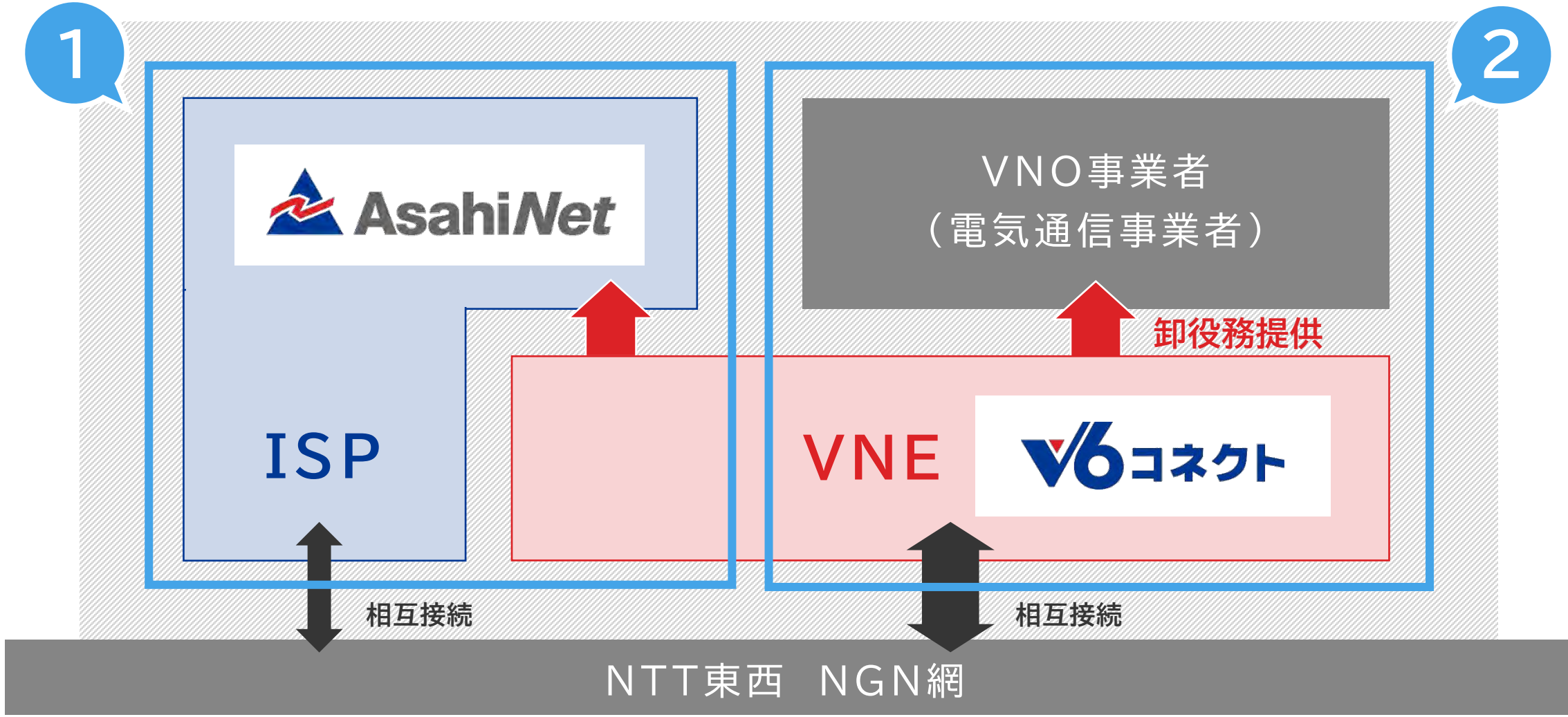
■ 売上原価 ■ 売上高 ● 売上高総利益率 — トラフィック

・ ネットワークの設備増強
・ 「manaba」サーバー増強





インターネット接続事業の構造



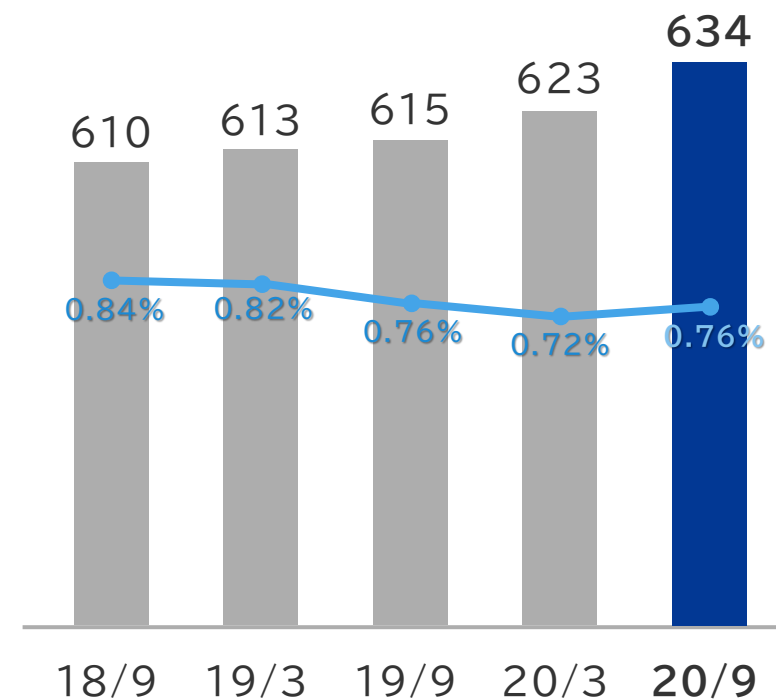
「ASAHIネット」会員数の推移

会員数は前年同期末比19千ID増加。退会率は0.76%

(単位:千ID)

	2019年 9月末	2020年 9月末	増減数
FTTH(光接続)	399	421	+22
ADSL	20	16	△3
ブロードバンド 計	419	438	+19
モバイル接続	42	46	+3
その他	154	151	△3
会員数 計	615	634	+19

● 退会率 (当該月の接続会員退会数÷当該月の接続会員数)



「ASAHIネット」トピックス

DX推進※の流れが加速。通信が担う役割が拡大

※デジタルトランスフォーメーションの推進(引用:DX推進ガイドライン | 経済産業省)

クラウドサービス活用

IoT/M2M

キャッシュレス

非対面/非接触

テレワーク

FTTH(光接続)

自宅・オフィスの通信環境整備

自宅では在宅勤務や遠隔授業のための通信環境としてFTTH接続サービスの契約が増加。オフィスでは社外からのアクセス急増により通信回線を増強する企業が増加



安定した通信で
テレワークや遠隔授業を実施

モバイル接続

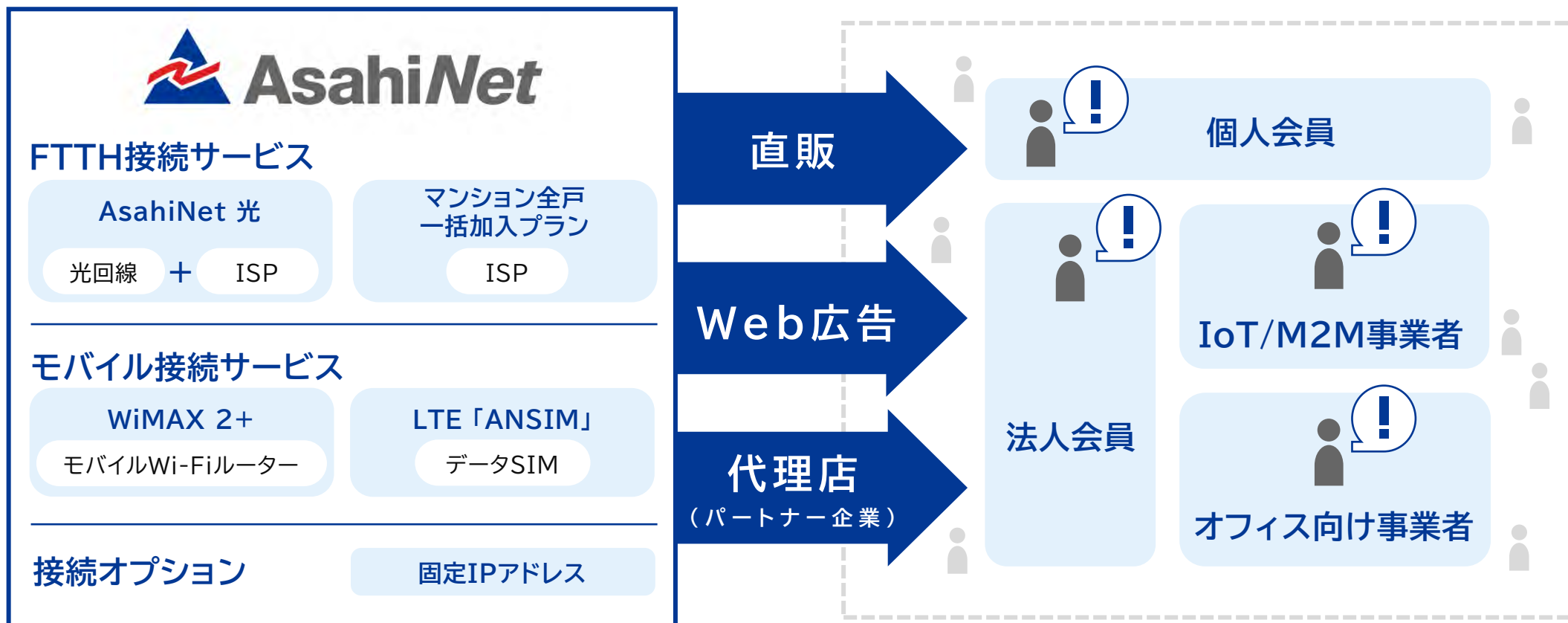
従業員の在宅勤務用環境を構築

在宅勤務用に従業員へ配布するためにモバイル接続サービスの契約が増加。固定IPアドレスを組み合わせることでセキュアなネットワークを手軽に構築



「ASAHIネット」販売チャネルの状況

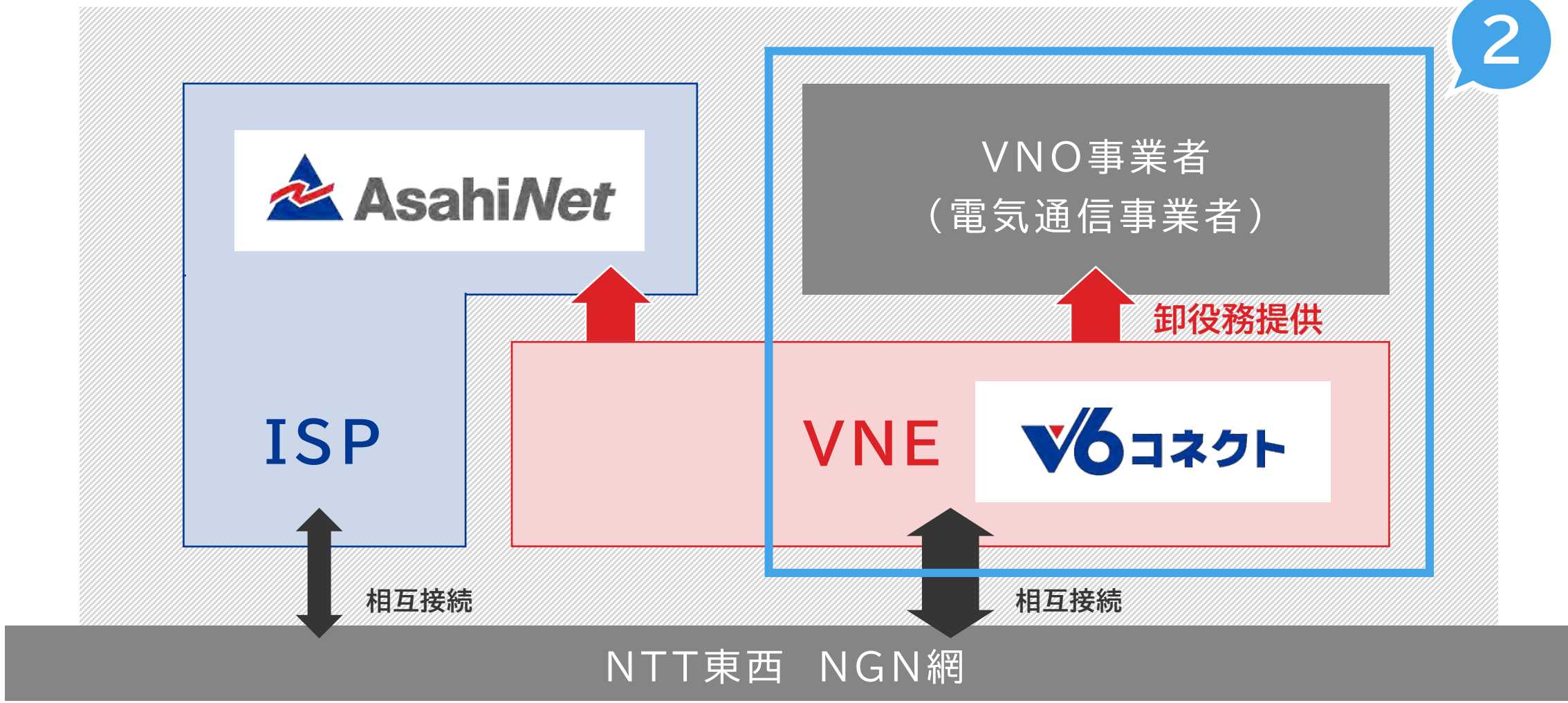
直販チャネルと代理店チャネル経由での申し込みが増加





インターネット接続事業の構造

2





「v6 コネクト」提供状況

提携事業者は10社へ拡大。トラフィック増加により取扱量も増加





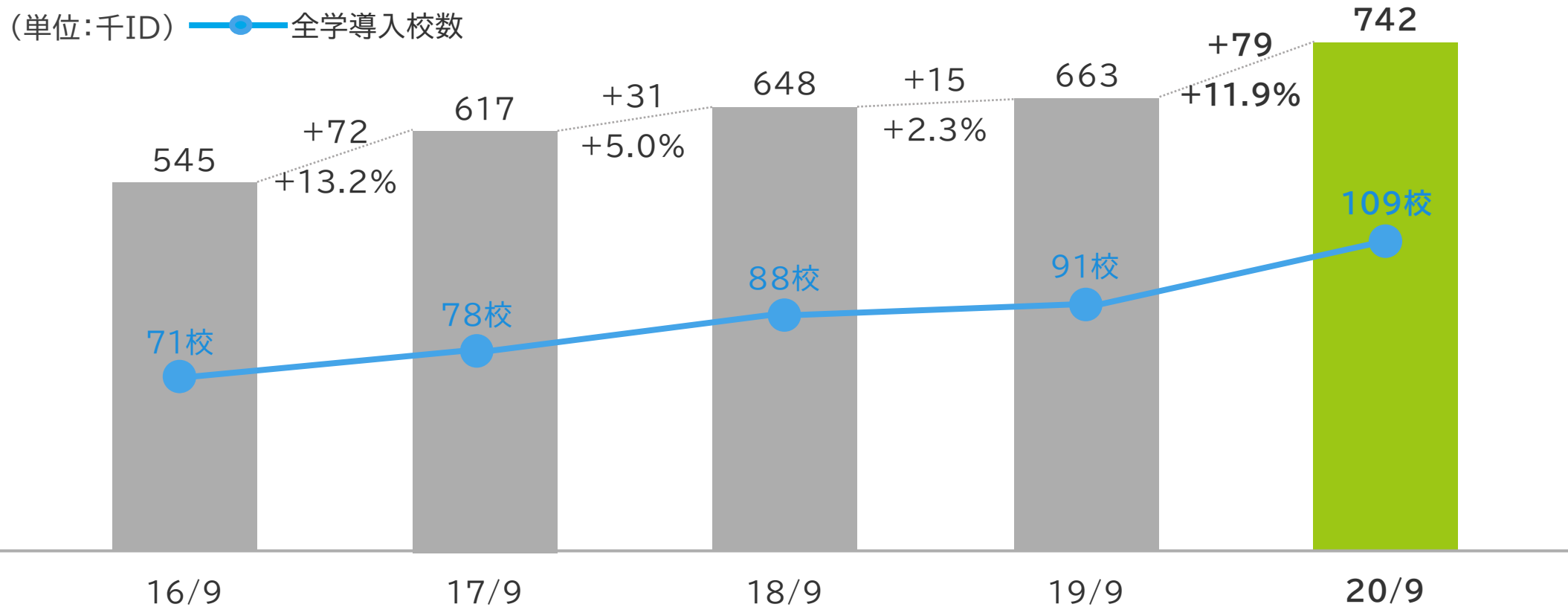
教育支援サービス「manaba」の概要





教育支援サービス「manaba」契約ID数の状況

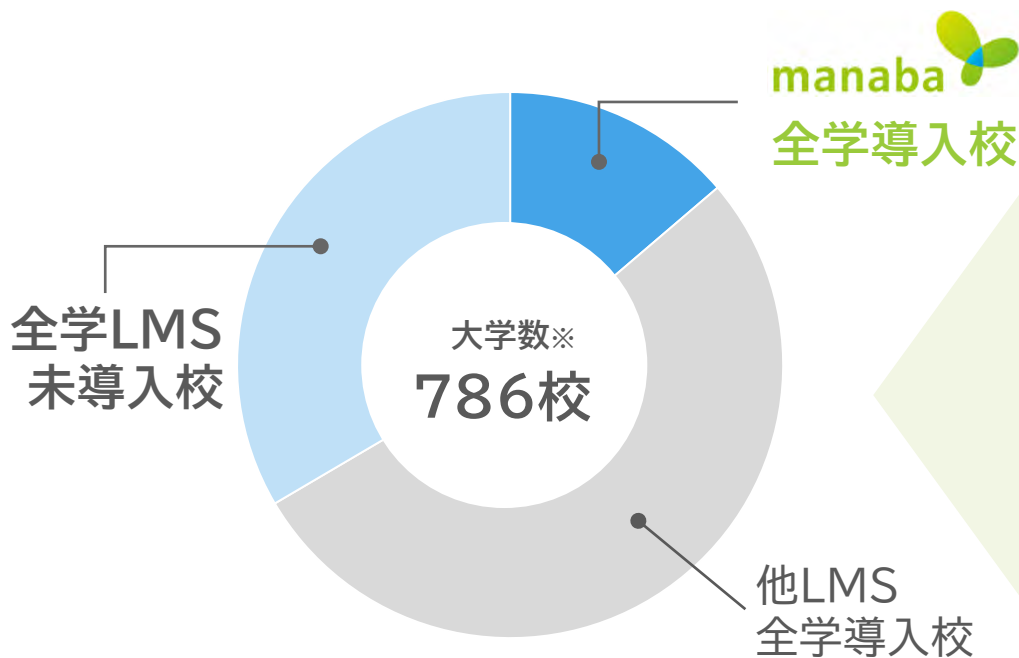
前年同期末比79千ID増加。全学導入校は109校へ拡大



「manaba」の取り組み

授業が対面から遠隔へ。今後も教育を支える取り組みを実施

授業支援システム(LMS)のシェア



※引用:学校基本調査(令和元年度) | 文部科学省 総合教育政策局調査企画課

傾向

前期に引き続き後期も大学の約8割が対面授業とインターネットを利用した遠隔授業を併用予定

遠隔授業の活用提案

Web会議システム + manaba を活用した遠隔授業の運営事例を紹介

- ✓ 教員向けの使い方講習会の実施、サポート体制の強化
- ✓ 遠隔授業をテーマとしたセミナー開催

文部科学省が掲げる遠隔授業に必要な要素

- ①設問解答, 添削指導, 質疑応答等による十分な指導
- ②学生の意見の交換の機会

2021年3月期 上期決算まとめ

1 2021年3月期 上期業績

- ・売上高は5,578百万円。2013年3月期から9年連続で過去最高の上期売上高を更新
- ・営業利益は768百万円。IPv6ネットワークの追加契約による売上原価の増加等も含め計画通りに進捗

2 事業の状況

●ISP「ASAHIネット」

2020年9月末の会員数は634千ID。(前年同期末比19千ID増)

●VNE「v6 コネクト」

提携事業者は10社に拡大。既契約の電気通信事業者のトラフィック増加により取扱い通信量増加

●教育支援サービス「manaba」

全学導入校数は109校。契約ID数は742千ID。(前年同期末比79千ID増)

